

# 自己評価結果等の公表にかかる届出書

令和 8 年 5 月 13 日

所在地 長崎県南島原市深江町戊3148番地9

法人名 社会福祉法人コスモス会

代表者 理事長 氏名 本田 利峰

## 1 事業所情報

事業所名	西有家ステーション		
事業所番号	4251300135		
事業の種別	<input type="checkbox"/>	児童発達支援	指定年月日 年 月 日
	<input checked="" type="checkbox"/>	放課後等デイサービス	指定年月日 平成 29 年 10 月 1 日
所在地	長崎県南島原市西有家町須川1731番地		

## 2 公表状況

公表日	《児童発達支援》	年 月 日
	《放課後等デイサービス等》	令和 8 年 5 月 20 日
公表方法	《児童発達支援》	
	<input type="checkbox"/>	ホームページ掲載 (URL )
	<input type="checkbox"/>	会報等に掲載し配布 (会報等の名称 )
	<input type="checkbox"/>	その他 (具体的な方法 )
	《放課後等デイサービス》	
	<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ掲載 (URL <a href="https://sfhcosmos.wixsite.com/otherbusiness/nishiarie-st">https://sfhcosmos.wixsite.com/otherbusiness/nishiarie-st</a> )
	<input type="checkbox"/>	会報等に掲載し配布 (会報等の名称 )
<input type="checkbox"/>	その他 (具体的な方法 )	
公表内容	各サービスの自己評価結果及び保護者結果を添付すること。 ※会報や事業所掲示の場合、会報の写し、掲示場所の写真などの公表方法が具体的にわかる資料を併せて添付してください。	

担当者名	佐藤
連絡先電話番号	0957-61-1130

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人コスモス会 西有家ステーション（放課後等デイサービス・保育所等訪問支援）			
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 2日		～	令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	放課後等デイサービス23名 保育所等訪問支援12名	(回答者数)	12名 5名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 2日		～	令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 2日			

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団の運動プログラムやソーシャルスキルトレーニング、日常生活スキルトレーニングなど、多様な支援内容を通じて、個々のニーズに応じた幅広いサポートを提供しています。	個々の特性に応じた小グループ活動や生活場面を想定した取り組みを通じ、無理なくコミュニケーションを促しています。また、小さな成功体験を積み重ねることで、自信を持って他者と関わられるよう支援しています。	ソーシャルスキルトレーニングのさらなる充実を図るため、年齢に応じた支援プログラムの導入や、具体的な実践の場を増やし、より効果的な支援環境の整備を進めます。
2	放課後等デイサービスに加え、保育所等訪問支援を行っているため、学校との連携をスムーズに行うことができます。	子どもの成長を支えるため、保護者・学校・支援者が一体となり、連携した取り組みを実現しています。特に保育所等訪問支援を通じ、学校現場への理解を深めながら、具体的な支援策を直接共有しています。	訪問スタッフの支援技術向上に努め、利用児の多様なニーズに的確に応えられる体制を構築します。そのために、スタッフへの専門的な研修の実施や、現場での実践的なスキルの習得を積極的に推進します。
3	法人事業所内に多様な大人向けサービスが揃っているため、効果的な連携が可能です。	法人事業所との連携を活用し、子どもたちが見学や体験を通じて卒業後の生活をより具体的にイメージできるよう、さまざまな工夫を行っています。	見学や体験内容を多様化し、子どもたちが幅広い職業や社会生活をイメージできる機会を増やすとともに、保護者にも卒業後の進路や生活について具体的な相談やアドバイスをを行い、将来に向けた支援計画を共に考える体制を整えます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日々の支援プログラムや地域との交流は継続的に実施できておりますが、活動の目的やねらいが発信内容から十分に伝わり切っていない部分があると感じています。	活動内容の発信が形式的になっており、ねらいや意図に関する説明が不足していることが考えられます。	・書面や連絡帳での発信だけでなく、SNSなどの媒体も併用し、各家庭の状況に応じて情報が届きやすい環境を整えていきます。
2	保護者同士が交流する機会がまだ限られている状況です。事業所としても交流の場を設けておりますが、参加機会をさらに拡げる工夫が必要であると感じています。	送迎が主に自宅への送迎となっていることから、保護者の皆様同士が直接お会いする機会が少ない状況です。また、事業所として設けている交流の場については、時間帯や参加方法の検討が必要です。	・保護者の方々が安心して交流できるように、参加しやすい時間や方法を工夫し、どなたでも気軽に参加できる行事や交流会の開催を検討していきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	西有家ステーション
------	-----------

公表日 令和 8年 3月 日

利用児童数 23名

回収数 12

	チェック項目	回答割合				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	92%	8%	0%	0%	・学習スペースや遊びの場が広くていいと思う	ガイドラインに基づいた必要な広さを確保し、活動内容に応じて部屋を分けるなど環境構成を工夫しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・職員の数も十分で安心して預けられると思う	利用定員および児童の状況に応じて、適切な職員配置を行っています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	83%	17%	0%	0%	・新しい場所も広くて使いやすい ・新しい事業所になって構造がよくわからない	施設の構造に応じて可能な範囲で安全面に配慮し、安心して利用できる環境づくりを行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	82%	9%	0%	9%	・いつも清潔で子どもが過ごしやすい環境だと思う	清掃および環境整備を徹底し、子どもたちが安心して快適に過ごせる空間づくりを行っています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・子どものペースに合わせていつも援助して頂きありがたい	定期面談以外でも随時相談に応じ、きょうだいを含めたご家庭全体への支援にも丁寧に対応しています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・活動内容と説明されている内容に違いはないと感じる	公表している支援プログラムに基づき、内容に沿った支援を適切に実施しています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・親や子の想いや課題を入れてもらえている	児童の特性やニーズを丁寧に把握し、保護者の意向を反映した個別支援計画を作成しています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	92%	8%	0%	0%	・子どもの状況に合わせて必要な支援が考えられていると思う	ガイドラインに基づき、「本人支援」「家族支援」「移行支援」の視点を踏まえた具体的な支援内容を設定しています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	93%	7%	0%	0%	・その子に合った支援が継続して行われていると感じる	個別支援計画に基づき、目標に沿った支援を実施しています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	83%	17%	0%	0%	・体を動かしたり学習をさせてもらった り訓練をしたり工夫をされていると思う	児童の発達状況や課題に応じて活動内容を工夫し、固定化しない柔軟なプログラム構成を行っています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	82%	9%	9%	0%	・地域との関わりの機会があれば良いと思う	地域との交流機会を大切にし、今後も活動の充実に向けて取り組んでいきます。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	92%	8%	0%	0%	・契約時に分かりやすく説明してもらえた	契約時に運営規程や利用者負担等について丁寧に説明しています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	92%	0%	8%	0%	・計画について丁寧に説明してもらえて理解しやすかった	個別支援計画を提示しながら説明を行い、変更時にはその都度丁寧に説明しています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	82%	9%	0%	0%	・家庭での関わり方についてアドバイスをもらえるので助かっている	面談等を通じて家庭支援に関する助言を行うとともに、研修や情報提供の機会を設けています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	100%	0%	0%	0%	・連絡帳や毎日の送迎時に様子を詳しく教えてもらえる	連絡帳や送迎時の対話を通じて情報共有を行い、健康や発達状況の共通理解を図っています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%	0%	0%	0%	・困った時に相談に乗ってもらえるので安心できる	定期面談に加え、必要に応じて子育てに関する助言や相談支援を行っています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・子どもにも保護者にも寄り添って対応してもらえている	保護者の思いに寄り添い、傾聴を大切にしながら共感的な支援に努めています。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	67%	0%	0%	33%	・今回は参加できなかったが、機会があれば参加してみたいと思う	保護者会や勉強会を実施し、保護者同士の交流機会を設けるとともに、家族支援の充実に取り組んでいます。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%	0%	0%	0%	・相談しやすく、対応も早いと感じている	相談体制を整備し、迅速かつ丁寧な対応を行っています。	

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・連絡がこまめで安心できる	連絡帳やLINE等を活用し、保護者の状況に配慮した情報共有を行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	100%	0%	0%	0%	・写真や動画などでも様子が知れてありがたいです	広報誌や動画配信等を通して、活動内容や事業所の取組について定期的に情報発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・個人情報についてしっかり配慮されていると感じる	個人情報管理を徹底し、職員研修を通じて適切な取扱いを周知しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	100%	0%	0%	0%	・安全面についての取り組みがしっかりしていると思う	各種マニュアルを整備し、保護者へ周知するとともに、想定訓練を定期的の実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	100%	0%	0%	0%	・避難訓練などが行われていると聞いて安心している	安全計画に基づき、定期的に避難訓練等を実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・安全に配慮されている環境で安心して利用できる	安全計画を周知し、安全確保を徹底した上で支援を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・何かあった時はすぐに連絡をもらえて安心できる	けがや体調の変化等があった場合には、速やかに保護者へ連絡し、状況について丁寧に説明しています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%	・毎日楽しかったと帰ってきて、楽しく過ごせているのがよくわかります。	安心して通所できるよう、職員間での情報共有を徹底しています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	93%	7%	0%	0%	・友だちや先生に慣れて楽しそうで家では進まない宿題がよく進んでいてとてもありがたいです。	楽しさの中で学びが深まる活動を工夫し、意欲につながる支援を行っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%	・優しく子のペースに合わせて家で過ごすよりもリハビリや成長の刺激になっていると思う。	成功体験を積み重ねながら自己肯定感を育み、成長につながる支援を行っています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	西有家ステーション		公表日 令和 8年 月 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	ガイドラインに基づいた広さを確保し、活動内容に応じて部屋を分けるなど、適切な環境設定を行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	基準に沿った人員配置を行い、各部屋に職員を配置しています。児童の状況に応じて個別対応も実施しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	視覚支援により分かりやすい環境を整えています。室内環境の安全点検や動線の整理、危険箇所の事前確認など、安全面にも配慮しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	利用後は毎回清掃・消毒を実施しています。活動内容に応じて空間を整理し、落ち着いて取り組める環境を整えています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	必要に応じて個別になれる場所を確保し、クールダウンや気持ちの整理ができるよう配慮しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	日々の打ち合わせや会議において意見交換を行い、改善策を検討しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	アンケートや面談を実施し、その結果を職員間で共有し業務改善に反映しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々の打ち合わせや会議において意見交換を行い、改善策を検討しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	今年度は行っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	毎月の虐待防止研修・所内研修を実施し、法人内外の研修にも参加しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	5領域に基づき協議の上プログラムを作成し、公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	定期的に見直しを行い、保護者からの情報や日々の様子を踏まえて計画作成を行っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	児発管のみでなく、支援に関わる職員でモニタリングを実施し、計画へ反映しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	個別支援計画は職員間で共有し、計画に沿った支援を実施しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	フォーマル・インフォーマル双方の評価を活用し、日々の記録を基に状況確認を行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	「本人支援・家族支援・移行支援・地域連携」を踏まえ、具体的支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	活動計画は、月1回の支援会議および週1回の打ち合わせで協議し、チームで立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	季節行事や社会資源を取り入れ、活動内容が固定化しないよう年間を通して工夫しています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	児童の当日の状態や特性を踏まえ、個別・小集団・集団活動を柔軟に組み合わせ支援を実施しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	支援前には必ずミーティングを行い、当日の目標・役割分担・配慮事項を確認した上で支援にあたっています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	支援終了後に振り返りを実施し、気づきや課題、翌日の対応方針を共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	日々の支援記録を作成し、個別支援計画との整合性を確認しながら改善に活かしています。	
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	半年ごとの定期モニタリングに加え、必要時にも見直しを行い、計画の適正化を図っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%	ガイドラインの「4つの基本活動」を踏まえ、複数の活動要素を組み合わせ支援構成を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	活動の中で選択機会を設け、自己決定を促す支援を意図的に取り入れています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	担当者会議等には児童発達支援管理責任者が参加し、児童の状況を的確に共有しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	自立支援協議会等に参加し、保健・医療・福祉・教育との連携体制を構築しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	学校とは送迎時や電話連絡等で日々情報共有を行い、行事予定や下校時刻の確認も徹底しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	就学前の関係機関や学童等とも情報共有を行い、支援の連続性を確保しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	卒業後の進路先へ、これまでの支援内容や配慮事項を適切に引き継いでいます。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	0%	地域の児童発達支援センター等と必要に応じて連携を図る体制を整えています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	図書館や公園活動等を通じて、地域の子どもの交流機会を設けています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	自立支援協議会へ継続的に参加し、地域ネットワークの中で役割を果たしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	連絡帳やお迎えに来られた際の対話を通じて、児童の状況や課題について保護者と共有しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	面談や保護者会を通して、家庭での対応方法や支援の工夫について情報提供を行っています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	重要事項説明書に基づき、契約時や面談時に丁寧な説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	モニタリング時に意向確認を行い、子どもと保護者の思いを反映した計画作成を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	計画内容を説明し、十分な理解を得たうえで同意をいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	相談があった際は面談等を実施し、具体的な助言や家庭での実践方法を提案しています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	保護者会を開催し、保護者同士が交流できる場を設けています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	苦情受付体制を整備し、迅速かつ適切に対応できる仕組みを構築しています。	
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	広報誌やSNS等を活用し、活動内容や予定を定期的に発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報は同意取得のうえ、適切に管理しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	各家庭の状況に応じた伝達方法を工夫し、円滑な意思疎通を図っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	地域との関わりを意識した行事や外部活動を実施しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	各種マニュアルを整備し、定期的な研修・訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	BCPを策定し、毎月内容を変えながら防災訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	利用開始時および定期確認により、服薬や発作等の情報を把握しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	アレルギーについては事前確認を行い、必要時には医師指示に基づき対応する体制を整えています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画に基づき点検・研修・訓練を実施し、安全管理体制を維持しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	安全計画の内容を保護者へ周知し、緊急時の協力体制を整えています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハット事例は共有・検証し、再発防止策を講じています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止研修を定期的に行い、チェックリストによる自己点検も行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	身体拘束等は職員で協議のうえ慎重に判断し、事前説明・同意取得のうえ個別支援計画に明記しています。		

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日			令和8年 3月 日	
社会福祉法人コスモス会 西有家ステーション		利用児童数 12名			回収数 5	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	100%	0%	0%	・具体的で分かりやすく、日々の保育に取り入れやすい助言をいただいています。	今後も、具体性と分かりやすさを大切にし、実践につながる助言が行えるよう努めてまいります。	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	100%	0%	0%	・専門的な視点での助言があり、安心して相談することができています。	引き続き、職員研修や自己研鑽を通して専門性の向上を図り、より良い支援の提供に取り組んでまいります。	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	100%	0%	0%	・質問に対して丁寧に対応していただき、理解しやすいです。	訪問時の対応に加え、日頃の様子についても丁寧に把握し、適切な助言が行えるよう努めてまいります。	
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	100%	0%	0%	・関わり方の工夫を教えていただき、子どもの様子が落ち着いてきたと感じます。	今後も実践的な助言を継続し、お子さまの行動面の安定につながる支援を行ってまいります。	
5 事業所からの支援に満足していますか。	100%	0%	0%	・継続して支援していただき、現場としても大変助かっています。	引き続き、ご満足いただける支援の提供を目指し、内容の充実と質の向上に努めてまいります。	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
<p>・何もわからずどのようにこの1年を過ごし少しでも成長できるような関わりをと思っていましたが、とてもわかりやすく的確なアドバイスをいただいたおかげで私たちの日々の保育がとてもスムーズになり子どもたちの気持ちをくみとることができ、楽しく園生活を過ごす姿が見られるようになりました。言葉も増え、気持ちの切り替えもスムーズになるなどプロのアドバイスに感謝しております。本当にありがとうございました。今後ともご指導よろしく申し上げます。</p> <p>・学校訪問後に、担当職員と面談を実施している。その中で本人や保護者における具体的な手立てや情報提供をしていただいたおかげで、同じ方向性をもって支援に当たることができた。</p>				<p>・温かいお言葉をいただき、ありがとうございます。訪問支援の助言が日々の保育の中で活かされ、園での生活がよりスムーズになり、子どもたちが安心して楽しく過ごしている様子につながっているとのことで大変うれしく思います。今後も園の先生方と情報共有を行いながら、子どもの成長や特性に応じた具体的な助言や支援を行い、安心して園生活が送れるよう連携を大切にしております。引き続きよろしくお願いいたします。</p> <p>・ご意見をいただきありがとうございます。学校訪問後の面談を通して情報共有を行い、支援の方向性を確認しながら連携して支援ができていることを大変うれしく思います。今後も学校の先生方と丁寧に情報共有を行いながら、本人や保護者への具体的な支援方法の提案を行い、同じ方向性で支援に取り組めるよう連携を大切にしております。引き続きよろしくお願いいたします。</p>		

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 社会福祉法人コスモス会 西有家ステーション

公表日 令和8年 3月 日

利用児童数 12名

回収数 5

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	100%	0%	0%	0%	・具体的な教材を見せていただき、わかりやすかったです。	実物を用意し、支援の助言の際に活用して具体的に支援を行っています。	
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	100%	0%	0%	0%	・相談室があります。	安心して相談いただける環境を整え、プライバシーに配慮した対応を行っています。	
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・事業の内容について丁寧に説明していただき、理解しやすかったです。	資料を活用しながら事業目的や支援内容について丁寧に説明し、理解を深めていただけるよう努めています。	
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	100%	0%	0%	0%	・無理のない頻度や時間で調整してもらっていると思います。	支給量を確認のうえ、保護者と相談しながら訪問頻度や時間を決定しています。	
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	100%	0%	0%	0%	・安心して任せられる体制が整っていると感じます。	児童の状態に応じて適切な職員体制を整え、専門性を活かした支援を行っています。	
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		子どもの特性に合わせた関わりをさせていただいています。	児童の特性を丁寧に把握し、専門性を活かした支援の充実にも努めています。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・子どもや家庭の状況に合わせた計画になっていると思います。	保護者の意向や児童の課題を踏まえ、個別支援計画を作成しています。	
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・学校の状況も踏まえた計画になっています。	訪問先施設および保護者の意向を踏まえた個別支援計画を作成しています。	
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・支援内容が具体的に分かりやすいです。	ガイドラインを踏まえ、具体的な支援内容を設定しています。	
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		計画に沿って継続した支援が行われていると感じます。	個別支援計画に基づき、計画に沿った適切な支援内容を実施しています。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・園との連携も取れていると感じます。	訪問先施設の状況や方針を尊重しながら、助言や提案を行っています。	
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%	・契約時に分かりやすく説明していただきました。	重要事項説明書に基づき、契約時および面談時に丁寧に説明しています。	
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%	・計画を見ながら説明してもらい、理解しやすかったです。	個別支援計画を提示しながら支援内容を説明し、定期的に見直しを行っています。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	100%	0%	0%	0%	・困りごとを相談するとアドバイスももらっています。	保護者の困り感を丁寧に伺い、助言や情報提供を行っています。	
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・困ったときに相談しやすいです。	必要なときにこどもの状況を保護者と共有し、健康や発達の課題について共通理解を深めます。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%	0%	0%	0%	・必要なときに相談や助言をいただけて助かっています。	定期的な面談を実施し、必要に応じて子育てに関する助言を行っています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・子どもや保護者に寄り添った対応をいただいています。	保護者の思いに寄り添い、傾聴を大切にしたい支援に努めています。	
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%	0%	0%	0%	・相談しやすく、丁寧に対応してもらっていると感じます。	相談体制を整備し、迅速かつ丁寧な対応を行っています。	
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・こまめに情報共有していただき安心していきます。	保護者の状況に配慮しながら、適切な方法で情報共有を行っています。	
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・園や学校とも連携しながら対応してもらっていると感じます。	訪問後の面談等を通して、必要な助言や支援を行っています。		

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・訪問内容を分かりやすく説明してもらえています。	訪問後に支援内容や提案事項について施設と共有し、保護者にも説明を行っています。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・訪問後の様子を丁寧に伝えてもらえています。	訪問後に本人の様子や支援内容について保護者へ共有しています。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	100%	0%	0%	0%	・活動内容や取り組みが分かりやすく発信されていると思います。	広報紙や動画等を活用し、活動内容や自己評価結果を定期的に発信しています。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・個人情報の取り扱いについても安心して任せられます。	個人情報の適切な管理を徹底し、職員研修を実施しています。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・緊急時の対応についてもきちんと考えられていると感じます。	緊急時の対応について訪問先施設と連携し、適切に対応できる体制を整えています。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・安全面にも十分配慮されていると思います。	安全計画を策定し、保護者へ周知するとともに、想定訓練を実施しています。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	80%	20%	0%	0%	・その時の気持ちに合わせて対応してもらっていると感じます。	児童の成長段階や気持ちの変化に配慮し、本人および保護者と相談しながら支援方法や実施形態の見直しを行っています。
	28	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%	・園生活が落ち着き、安心して過ごせるようになりました。	園や学校生活がより充実したものとなるよう、環境調整や支援方法の提案を継続して行っています。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人コスモス会 西有家ステーション				公表日	令和8年 3月 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	100%	0%	実物教材などを準備し、訪問先での支援方法が具体的に伝わるよう助言を行っています。今後も子どもの特性に応じた教材の工夫を行っていきます。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	基準に基づいた職員配置を行い、安定した支援体制の確保に努めています。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	日々のミーティングや月1回の支援会議を通して、支援の振り返りと改善を行っています。今後も職員全体でPDCAを意識した運営に努めます。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	保護者アンケートや面談を通して意向を把握し、支援や業務改善に反映しています。		
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや支援会議の中で職員の意見交換を行い、業務改善につなげています。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	第三者外部評価は行っていません。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	法人内研修や外部研修に参加し、職員の専門性向上に努めています。		
適切な 支援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	100%	0%	定期的なアセスメントの見直しを行い、保護者からの情報や日頃の様子を踏まえて支援計画を作成しています。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	モニタリング結果を基に児童発達支援管理責任者が計画案を作成し、職員間で検討・共有しています。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	100%	0%	訪問先の担任や関係職員の意向を確認し、支援計画に反映するよう努めています。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	個別支援計画を職員間で共有し、計画に沿った支援を行っています。		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	フォーマルなアセスメントに加え、日々の支援記録や観察を活用し状況の把握に努めています。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	ガイドラインの内容を踏まえ、具体的な支援内容を計画に反映しています。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	計画内容を職員間で共有し、継続的な支援が行えるようにしています。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	支援前に情報共有を行い、支援内容や役割を確認して訪問支援を実施しています。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	支援後には訪問先での様子や支援内容を振り返り、次回支援に活かしています。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	100%	0%	訪問先の方針や環境を尊重しながら、子どもの理解を深める助言を行っています。		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	100%	0%	支援内容は記録として残り、支援の検証や改善に活用しています。			
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	定期的にモニタリングを行い、必要に応じて支援計画の見直しを行っています。			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	サービス担当者会議には児童発達支援管理責任者や支援職員が参加しています。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	医療機関や行政機関等と必要に応じて連携を行いながら支援を進めています。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	就学時には学校と情報共有を行い、支援の継続性が保たれるよう努めています。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100%	0%	外部研修への参加や専門機関からの情報を参考に、支援の質の向上を図っています。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	自立支援協議会等へ参加し、地域の支援体制との連携を図っています。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	日頃から子どもの様子を保護者と共有し、課題や対応について共通理解を図っています。
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	保護者の困り感に応じた助言や、研修等の情報提供を行っています。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時や面談時に重要事項や利用者負担について丁寧な説明を行っています。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	100%	0%	訪問先施設へ事業の目的や支援内容を説明し、理解を得たうえで支援を行っています。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	面談等で保護者や本人の意向を確認し、支援計画に反映しています。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	支援計画の内容を説明し、保護者の同意を得て支援を実施しています。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	保護者からの相談には随時対応し、必要な助言や支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	保護者会や懇談会を通して、保護者同士の交流や学びの機会を設けています。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	相談窓口や苦情受付体制を整備し、契約時に説明しています。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	広報誌等を通して活動内容の情報発信を行っています。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報の取り扱いについては十分配慮し管理しています。
36	障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	保護者との意思疎通方法を確認し、それぞれに合った伝達方法を心がけています。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100%	0%	訪問先からの相談に応じ、子どもの理解や支援方法について助言を行っています。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	100%	0%	訪問後には担任とカンファレンスを行い、支援方法や環境調整について共有しています。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100%	0%	訪問内容については保護者にも報告し、家庭との連携を図っています。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報の取り扱いについては、関係者への説明と管理を徹底しています。

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	100%	0%	訪問先との信頼関係を大切にしながら、専門的な視点で助言を行っています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	各種マニュアルを整備し、研修や訓練を通して緊急時対応の確認を行っています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画を作成し、必要な研修や訓練を実施しています。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハット事例を共有し、再発防止策を検討しています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止および身体拘束適正化に関する研修を定期的に実施し、意識向上に努めています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	身体拘束については原則行わないことを基本とし、やむを得ない場合の手続きや説明を保護者へ行い、計画に記載した上で対応する体制を整えています。	